

SOSPETTO

- 訝しい武器職人 -



1-4
persons



12-
age



15-30
min

▶ Introduction - 導入 -

まもなく親方が引退しようとしている武器工房、
次の親方となるのは一番評判の良かった弟子にすると約束し
職人たちにその腕を揮わせ、競わせる。

しかし職人たちはまっとうに一番を目指そうなどとは思わず
依頼品を納品もせず活用し、特注品のみ納めようとする。
工房の道具でよいものは他の職人に使わせようとせずに、
さらには胡散臭い協力者に依頼をする傍若無人ぶり。
はたして、この工房を最後に任されるのは誰になるのか――。

▶ Component - 内容物 -

工房カード	17 枚	ダイス	5 個
依頼品カード	27 枚	青水晶 (青トークン)	5 個
特注品カード	8 枚	金貨 (黄トークン)	5 個
協力者カード	16 枚	マニュアル	1 冊

Workshop - 工房カード -

あなたたち職人が仕事をする上で必要な道具であり、
また、依頼者に依頼するためのリソースを得るための手段です。



① カードの効果

工房カードを使用した時の効果です。

Order - 依頼品カード -

あなたたち職人が作成を引き受けて作り上げていく依頼品です。
これらの商品は依頼者に引き渡さず道具として使うことも可能です。



① 依頼品の目標値

依頼品を作成するために必要な目標値です、
完成度をこの目標値以上の数にすることで依頼品を製作できます。
赤文字で書かれている場合は完成度をこの目標値以下にすることで
依頼品を製作できます。

② 依頼品の効果

目標値を達成し、完成品として
自分が入手したカードを使用した場合の効果です。

Special Order - 特注品カード -

工房の後継者となるために作るべき特注品です。

この特注品を製作することがプレイヤーの目的となります。



① 特注品の目標値

特注品を作成するために必要な目標値です、
完成度をこの目標値の間にする事で特注品を製作することができます。
例えば、上図の場合 12 ~ 15 の完成度とする必要があり、
完成度が小さすぎても、大きすぎても特注品を製作できません。

② 特注品のレベル

特注品のレベルです、完成させる順番は 1→2 の順となります。

Character - 協力者カード -

職人であるあなたの手伝いをしてくれる胡散臭い協力者です。

対価を支払えば強力なスキルをあなたのために使って有利にしてくれるはず。



① スキル

協力者ごとの固有スキルです、依頼をした瞬間にその効果を発揮します。使用できるタイミングが限定される場合の注釈もここに記載されています。

② コスト

協力者に依頼をする際に必要なコストです。

コストが不足している場合は協力者に依頼はできません。

支払を行うタイミングはスキルを使用し効果を得た直後となります。

余分にコストを支払っても余剰分の返却はありません。

[青水晶]



魔力の秘められた青水晶
青いトークンで表現します

[金貨]



経済の流通に必要な金貨
黄色いトークンで表現します

▶ Preparation - 準備 -

ゲームの開始にあたり、下記の手順でカードを並べ準備していきます。

① 協力者カードを並べる

協力者カードを4枚表向きにして並べます。

残りのカードは裏向きのまま山札とします。

② 特注品カードを並べる

特注品 -1、特注品 -2 をそれぞれ別の山札として1枚だけ表向きにします。

残りのカードは裏向きのまま山札とします。

③ 依頼品カードを並べる

依頼品カードをプレイ人数より2枚多く表向きにします。

(2人:4枚、3人:5枚、4人:6枚)

残りのカードは裏向きのまま山札とします。

④ トークン・ダイス並べる

青/黄色のトークン、ダイスを扱いやすい場所に並べます。

▶ Playing - ゲームの進め方 -

ゲームはプレイヤー間で工房カードを取り合うドラフトパートと各個人でプレイする製作パートの繰り返して進めていきます。

[ドラフトパート]

①工房カードの取得



[製作パート]

スタートプレイヤー

①工房カードの使用

②協力者カードの使用

③完成品の使用

④依頼品・特注品の製作



他プレイヤーの[製作パート]



クリーンアップ

▼(特注品-2 未取得)

▼(特注品-2 取得済み)

[ドラフトパート]へ

[後日談](勝敗判定)へ

Draft - ドラフトパート -

職人たちは自分が有利に依頼品や特注品を作れるように
工房にある道具を取り合うこととなります、全員の思惑が交錯します。

① 工房カードを配る

工房カードを4枚ずつの山札とします。

残った1枚のカードは「誰の手札にもならなかったドラフトカード」とします。

② 工房カードの山を選ぶ

それぞれの職人は分けられた工房カードの山札から1つ選んで仮手札とします。

人数の都合で選ばれなかった山札はこのターン使用しません。

③ ドラフト

それぞれの職人は仮手札の中から1枚好きなカードを選んで手札とします。

残った仮手札は時計回りに次の職人へと手渡します。

仮手札がなくなるまでドラフトを繰り返し4枚の手札を手に入れてください。

Production - 製作パート -

職人たちが依頼品・特注品を作るためのパートです。

実際に製作を行うまでは可能な限りどの行動を何度行っても構いません。

また、実行可能な行動を実施しないという選択肢を取ることもできます。

* 工房カードの使用

① 工房カードを使用する

自分の手札となった工房カードを使用します。

まとめて使用しても1枚ずつ使用しても構いません。

使用した時点で工房カードに書かれた効果を使用する必要があります。

・普通の金床 / 黄金の金床

完成度となるダイスを書かれている数だけ振ることができます。

黄金の金床を使用し、1個のダイスのみを振ることはできません。

・封魔の金床

振り終わったダイスを1個振りなおすことができます。

振りなおしたダイスが元の結果より悪い場合でもキャンセルはできません。

・邪神像

この工房カードの効果で振ったダイスは結果分完成度がマイナスされます。

封魔の金床で振りなおしてもマイナスであることは変わりありません。

・ありきたりな大鍋 / 魔女の大鍋

完成度を書かれている数だけ増加します。

複数枚出した場合はそれぞれの結果は合算されます。

・破碎のハンマー

任意のプレイヤー1人の手札をランダムに1枚破壊して

このターンの間、その工房カードを使用できないようにします。

・青真珠 / 金貨

そのターンに協力者を依頼するために青真珠、金貨2つとして使用できます。

または青真珠、金貨を共有の場から取得し1つストックできます。

共有の場がない場合は他プレイヤーのストックを奪います。

* 協力者カードの使用

① 協力者カードを使用する

場に表向きで並んでいる協力者に依頼することができますが、依頼するにはそれぞれの要求する青水晶 / 金貨のコストが必要です。依頼した時は即座に協力者のスキルを使用して書かれている効果を適用します。

② コストを支払う

スキルの効果の処理が完了すれば、要求されたコストを支払います。協力者によっては条件によってそのコストが軽減される場合があります。

③ 協力者カードの補充

使用済みの協力者は捨て札とし、新たな協力者を山札から並べなおします。

* 完成品の使用

① 完成品カードを使用する

自分の製作した依頼品（完成品）の効果を使用します。使用する時は即座にカードに書かれている効果を適用します。

② 使用済み状態とする

完成品を使用した場合はカードを裏返し使用済みとします。使用済みのカードもそのまま手元に保持したままとなります。

* 依頼品・特注品の製作

① 完成度のダイスを振る

工房カード・完成品でダイスを振る以外に
完成度のダイスを任意で1個振ることができます。

② 製作する

自分の振ったダイスと完成度の補正值の合計を計算し
作成可能な依頼品・特注品があれば好きな1点を製作し手元に移動します。
依頼品が製作された時はクリーンアップまで補充されませんが、
特注品の製作がされた時は新たな特注品を即座に表向きにします。

③ ターンの終了

依頼品・特注品の製作を行った場合は自分のターンは終了し、
次のプレイヤーに手番がうつります。

Clean Up - クリーンアップ -

全員の製作パートが完了したら、以下の処理を行います。

① 工房カードの回収

工房カードを全て回収しシャッフルをし、次のドラフトパートの準備とします。

② 依頼品カードの補充

依頼品カードをもとの枚数まで補充します。

Epilogue - 後日談 (勝敗判定) -

このターンに誰かが特注品 -2 を取得を取得していた場合ゲーム終了です。
以下のルールに沿って順位を確定します。

① 特注品 -2 を取得

誰か一人が特注品 -2 を取得していればその職人が勝者となります。

② 未使用の完成品の枚数が多い

未使用の完成品の枚数が多い人が勝者となります。

③ リソースの数が多い

青水晶と金貨の合計数が多い人が勝者となります。

④ 未使用の完成品の中で完成度の最大値が高い

未使用の完成品のなかで最も必要な完成度が高い依頼品を
製作している人が勝者となります。

⑤ 完成品の枚数が多い

使用 / 未使用問わず完成品の枚数が多い人が勝者となります。

▶ Solo Play - 一人プレイモード -

できるだけ早く特注品 -1、特注品 -2 を 2 品ずつ作成することを目的とする一人プレイモードとなります。

多人数のゲームと同じようにカードを並べるところまでは同じですが以下の違いがあります。

① 工房カードの配布

1 枚「使用しないドラフトカード」としてランダムに除外し、他の 16 枚を手札とします。

② 工房カードの使用

手札の工房カードは 5 枚以上使用しても構いません。

③ 依頼品作成前のダイス

依頼品作成前に振れるダイスはありません。

④ 依頼品の補充

依頼品は作成された直後に補充されます。

⑤ ターンの終了

手札を使用できなくなるとそこで 1 ターン終了です。

再度工房カードをシャッフルして、次のターンを開始します。

2 回目の山札で特注品を作りきる、素晴らしい職人を目指しましょう。
テクニックと、度胸と、そしてダイスの運に恵まれた、
職人にあなたはなれるでしょうか？

▶ Character/Skill - キャラクター / スキル -

胡散臭い協力者とそのスキルの紹介です。



永々たる吸血鬼 アルフェラッツ

自分が振った任意の2個のダイスを好きな数字の1個のダイスとして扱います。ダイスを2個以上振れていないときは依頼できません。通常のダイスと邪神像のダイスに対して使用した場合完成値の増加・減少どちらに使用しても構いません。



眈々たる医師 サビク

自分の未使用の完成品を場の表向きの依頼品と交換して自分の完成品とすることができます。必要な完成度の高さは関係なくどの依頼品とも交換可能です。交換した依頼品はすぐに完成品として使用できます。



蝶々たる植物使い アレルナル

自分の使用済みの完成品を表向きに戻します。戻した依頼品は現在の自分のターンには使用することはできません。



浪々たる探索者 リー・シー

任意のプレイヤーを次のスタートプレイヤーにします。
自分以外を選択しても構いません。



彬々たる従者 ピーコック

すでに依頼済みの捨て札になっている依頼者も含め
全ての協力者を山札に戻しシャッフルします。
その後、新たに4枚の協力者を表向きにします。



陰々たる死霊使い シエダル

依頼品の山札の上から5枚を確認して
好きな順番に並び替えて山札の上に戻します。
山札の枚数が5枚より少ない場合は
残り全ての山札を確認して並べ替えます。



空々たる暗殺者 ポリス

次の自分のターン開始時まで
協力者に依頼することができなくなります。
このスキル使用後は自分も協力者に依頼できません。



爛々たる道化師 カープス

全ての表向きの依頼品と特注品を
山札の一番下に戻して同じ枚数だけ表にします。
強制的に全て入れ替える必要があり
交換したいものを任意で選択はできません。



杳々たる贗作家 ミザール

このターンで既に公開されている他プレイヤーの
工房カード1枚を自分のものとして使用できます。
公開されていないカード、破壊されたカードは
このスキルで使用はできません。



井々たる時計技師 ツィー

このターンに振ったダイスを好きな数振りなおせます。
振りなおした数が1個の場合は
振りなおした後の数字が気に入らない場合、
任意で元のダイス目に戻すことができます。



戚々たる魔鏡 アル・スハイル・アル・ロズン

他のプレイヤーの手札で
自分のターンの続きをプレイすることができます。
ただし、依頼する前に自分の〇〇の金床という
工房カードを使用している場合
この協力者に依頼をすることはできません。
他のプレイヤーの手札でプレイする場合、
その手札の〇〇の金床という工房カードは使用可能です。
自分より手番は遅いプレイヤーの手札も使用可能です。
このスキルを使われたプレイヤーは
一時的に手札の枚数は0枚として扱います。



白々たる支配人 フォーマルハウト

この協力者のスキルを使用したタイミングで
今回の自分のターンは終了します。
次のターンに自分はその時の手札で
2回連続(2ターン分)行動します。



寥々たる司書 アヴィオール

表になっている特注品の1枚、または2枚を
山札の一番下に戻し新たに1枚引きます。
山札に戻す特注品は任意に決めて問題ありません。
ただし、同じ山で2回戻すことはできません。



侃々たる王女 シルク

誰の手札にもならなかったドラフトカードの
内容を確認し使用しても構いません。
ただし、使用する場合は必ず2倍の効果で使用します。
例えばダイスを2個振るの場合4個振ります。
(2個や、3個といった振り方はできません)
また、邪神像であった場合金貨1枚支払いを減らせます。



福々たる蒐集者 ジュバ

金貨と青水晶を交換します。
共有スペースに存在するものから交換を優先し
不足している分は他プレイヤーと交換します。
交換対象とするプレイヤーは任意に選択して構いません。



鏘々たる踊り子 カペラ

次のターンはドラフトパートを行わず、
選択した仮手札がそのまま手札として扱われます。

Q&A - 質問と補足 -

マニュアル内に記載できなかった細かな仕様のまとめになります。

Q1. 使用した効果が上書きされた場合はどうなりますか？

A1. 探索者クー・シーの能力や旅立ちの靴で能力が上書きされた場合は後から使用された能力が優先されます。

Q2. シャロットワンドで表向きにしたカードはそのターンに使用できますか？

A2. 使用できます。植物使いアケルナルのスキル効果と異なり即座に使用して構いません。

Q3. 戦士の兜、皮の兜で奪うべき青水晶、金貨がない場合はどうなりますか？

A3. カード破壊の効果を無効にはできます。但し青水晶、金貨は奪えません。

Q4. エルフの弓の処理はどうするのが適切ですか？

A4. 完成品を使用したタイミングで誰の手札を何枚破壊するか決定します。破壊されたカードを確認して1枚ずつ追加で破壊することはできません。

Q5. 六角棒を使用したターンに減少できるコストは任意で選んでいいですか？

A5. 構いません。青水晶、または金貨の使用を1コスト減少できます。そのため、合計で1コストしか使用しない協力者はコスト無しで使用できます。また、コストの軽減は依頼のたびに効果を発揮します。

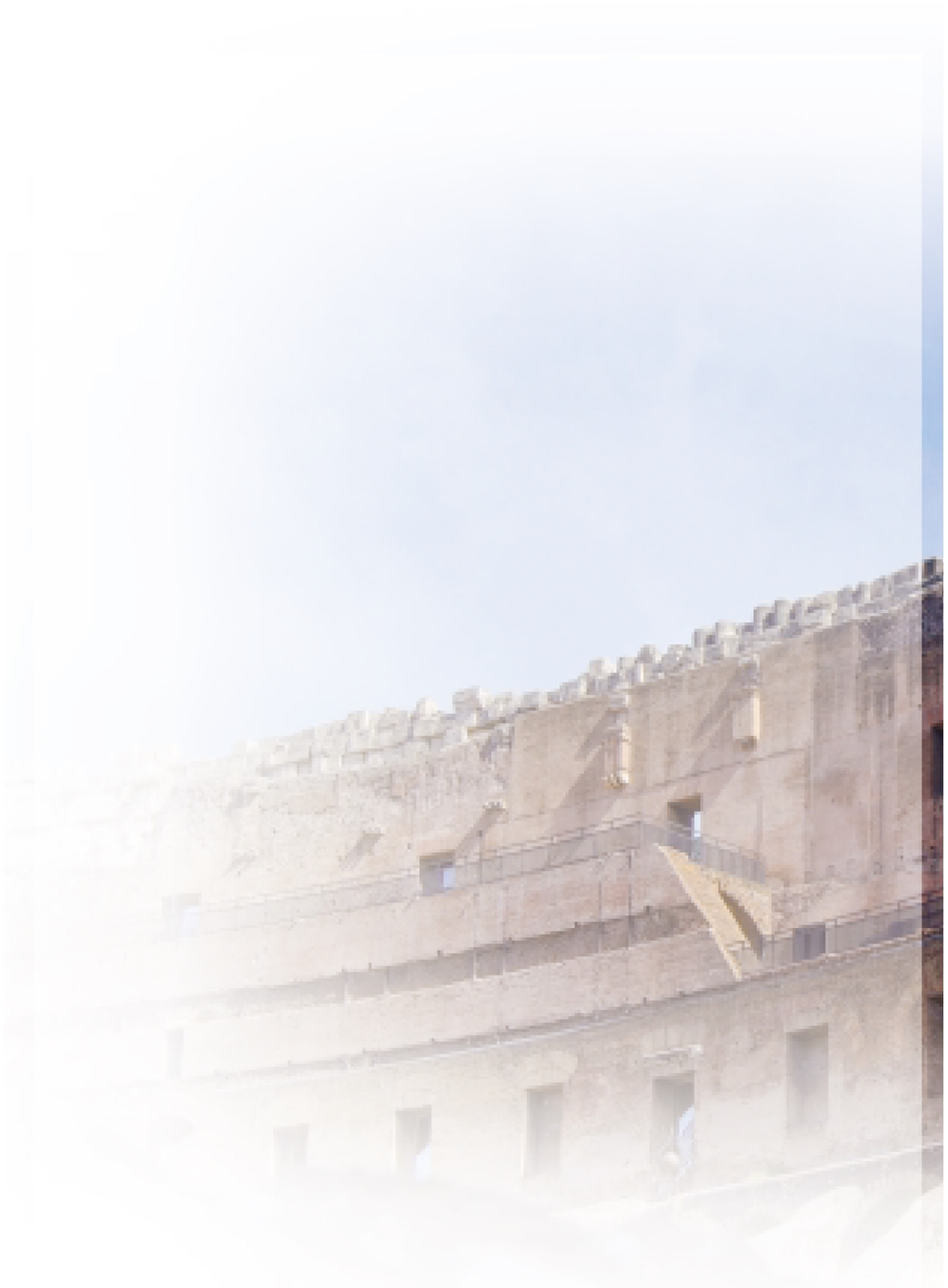
Q6. 戦斧ガレットの効果は自分の品質補正も無効にしますか？

A6. 戦斧ガレットを使用する前に利用した補正は無効になりません。ただし、戦斧ガレットを使用した後に適用した補正は自分も無効になります。

Q7. 残ったドラフトカードが邪神像で確定している場合の王女シリウスを金貨を持っていない状態で依頼できますか？

A7. 依頼できません。あくまで依頼のタイミングでは青水晶2、金貨1が必要です。使用した結果、金貨のコストが1軽減できます。

- Q8. 誰の手札にもならなかったドラフトカードがが使用された後に、
誰の手札にもならなかったドラフトカードを使用するカードを使えますか？
- A8. 使用できません。すでに誰の手札にもならなかったドラフトカードは
存在しないので使用することはできません。
- Q9. 任意の数のダイスを振りなおす時は、数は事前に決める必要がありますか？
- A9. 最初に振りなおす数を指定して振りなおします。
1個ずつ順番に振りなおすことはできません。
- Q10. 夜会のローブを使いましたが残り山札に4枚ありません。
- A10. まず初めに山札に残った協力者を全て表向きに並べます、
その後、元々表になっていた協力者を不足枚数分表向きに並べます。
- Q11. オペラナイフの振りなおしは必ず2個セットですか？
- A11. 振りなおしたいダイスだけ振りなおして構いません、
振りなおした結果、追加でもう一方も振りなおすことはできません。
- Q12. 金貨・青水晶がない時でも蒐集者ジュバは使用できますか？
- A12. 交換対象となるものがない（金貨・青水晶のいずれもない）場合は
蒐集者ジュバに対する依頼はできません。
- Q13. ダイスも振らず補正值も0の場合は完成度はどうなりますか？
- A13. 完成度は0として扱います。そのためブラックナイフ等を製作可能です。
- Q14. 完成度ダイスの結果作れる依頼品・特注品がありません。
- A14. 残念ながら、このターン何も製作できなかった扱いとなります。
- Q15. ダイスの追加効果で振れるダイスがなくなりました。
- A15. 確定したダイス目を記憶したうえでカード効果のダイスとして
振ってください、ダイスは無限にあるものと考えます。
- Q16. 依頼品カードがなくなりましたが誰も特注品 -2 を作れません。
- A16. 依頼品カードが全部なくなったターン終了時でゲーム終了です。
特注品を作る技術もない工房は潰れ、全員敗北扱いです。





クレジット

<ゲームデザイン>
紅灯無形

<イラスト>
i-mixs

<印刷会社>
萬印堂

<制作>

ACT Create

HP : <https://act.adam.ne.jp/create/>

MAIL : create@act.adam.ne.jp

Create
アクトクリエイト